

令和5(2023)年度
第2回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議
議事要旨

日 時:令和5(2023)年8月8日(火)10時00分から
場 所:周南市役所 本庁舎4階 庁議室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 委員の紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議 事

(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

6 その他

7 閉会

≪ 配付資料 ≫

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 総合戦略に関する評価
- ・ 第2期 総合戦略【令和4年度改訂版】(参考資料)

第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日 時 令和5(2023)年8月8日(火)10時00分から
場 所 周南市役所 本庁舎4階 庁議室
出席者 ・委員8名
江波 昭政、山田 みゆき、三浦 智香、河野 拓也、榊原 弘之、澤田 かおり、
原田 直哉、片山 恵子
・事務局7名、各事業担当者
企画部長 川口 洋司、企画部次長兼企画課長 行富 広康、
企画担当係長 中村 成孝、主任 藤原 隆宏、主任 近松 昌哉、
副主任 栢 理沙子、各事業担当者
資 料 ・会議次第のとおり

会議議事録

1 開会

◇事務局 皆様、改めましておはようございます。定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第2回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を開催したいと存じます。本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。前回に引き続き司会を務めさせていただきます企画課の中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、お手元の資料の確認を行います。本日の資料は、会議次第と配席表、また事前にお配りしております総合戦略に関する評価と第2期の総合戦略令和4年度改訂版となっております。不足の資料がございましたら、予備をご用意しておりますのでお申し出ください。よろしいでしょうか。

それではこれから議事に入りますが、その前に前回の審議会での担当課からの発言に対して訂正がございます。

「基本目標1推進施策(4)稼げる農林水産業の構築」の質疑応答の中で、河野副会長から、たこ飯などを学校給食で提供してはどうかとのご提案に対して水産課の職員が回答した内容について発言の訂正の申し出がございました。訂正内容といたしましては、担当課が給食でのたこの活用状況を説明した際、今年度の実施予定校を「今宿小学校」と申し上げましたが、正しくは「徳山小学校」とのことでした。訂正してお詫びいたします。訂正は以上となります。

それでは、これから議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

5 議事:(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

◎会長 はい。それでは規定によって議長を務めさせていただきます。前回、基本目標2まで終わってしまして、まず基本目標3に入ります。「基本目標3 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり(1) 関係人口の創出・拡大」につきまして、まず事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策(1)について説明～

◎会長 ありがとうございます。こちらのご質問ご意見等ございましたらよろしくをお願いします。

今の取り組みに関することというよりは、今後また総合計画等を作られていく中で、KPIをどう設定していくかっていうところと関わる意味で申し上げますが、今、KPIにフォロー数があるのですが、最近のSNSの栄枯盛衰を見ていると、どうしてもこのあたりプラットフォームに振り回されるところも大きい気もして。これ当時設定したKPIなのでそれはそれでいいと思うんですけど、今後また出していくときは、少し指標を何か質的なものというか、そういうものに変えていくことも考えてもいいと思いました。

◇事務局 ありがとうございます。世の中の流れとか、そういったことも踏まえながら、今ご指摘いただいた点も含めて検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

◎会長 他に何かございますか。

○副会長 地域づくりの担い手の拡大というところで、中山間とか人の少ないところの関係人口を増やそうっていう方向に全振りしている形ですが、中心市街地や新南陽地区とか、熊毛地区でもできると思うんですが、その辺りの対策はされてたりするんですか。

◇事務局 委員おっしゃるように各地域において生活の上での困難を解決するために、関係人口というか興味をもらって、もらった人に手伝っていただくとかというところは全市的にはあるところがございますけど、特に中山間地域においてはやっぱり人口減少が急速に進んでおりますので、どうしても人手が不足しているというのが顕著でありますので、やっぱりどうしても中山間地域に力を入れていきます。このような形で関係人口を増やすことに重きを置いているのが中山間地域のエリアというところでご理解いただけたらと思います。

○副会長 今年度はこれでいいと思いますが、次回以降というか2030年、2050年だとかって先を見越したときを考えると、都市部以外のところじゃなければ、都市部と地方が連携するというか。必ずしも地方の人だけがこれをやるっていうわけじゃなくって、関係人口って、外部との関係人口もありますけど市内

での都市部との関係人口っていう近い見方もできると思っているんで、全市的に強いところをとにかく強くしていくのも大事ではないかというところも含めて、関係人口の取り扱いの仕方だとかっていうのも、来年度、次の政策のときに、考えていただけたら嬉しいかなというふうに思いました。

◎会長 関係人口って、多分中山間地の外から見たときに、その中山間地域の方が地域資源という意味では魅力があって、なかなか都市部の部分だと外の方にとって魅力ある地域資源と上手く提示しづらいことがあるような気がします。ただ委員のおっしゃることは自分もよくわかるので、多分、こういった中山間地はこれからもやっていかないといけなくて、ただ、まちなかの方も例えば工場夜景とかそうなのかもしれないですけど、そういったまちなかの地域資源を外の人が魅力に感じて何か関わってもらえるような取り組みもあるといいと思うので、そのあたりは今後いろいろ市の中でお考えいただければいいのかなと思いました。

◇事務局 主な取り組みのとしての表題が、担い手の創出というところがございまして、まずは担い手不足というところへ注力して今ご意見いただいたような魅力向上も含めて今後検討していけたらと思います。

◎会長 多分中心部もこれからだんだん担い手が減ってくると思います。だからそこら辺はいろいろあるかなと思いました。はい、ありがとうございます。それでは「(2) 起業・創業支援の推進」ということで、こちらお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策(2)について説明～

◎会長 はい。どうもありがとうございました。こちら主な取り組みの①、②は基本目標1ですすでにご説明いただいていると思いますが、もし何か追加であればというのと、③の方は農業の関係で、この度新たに説明いただいた内容だと思います。こちらはいかがでしょう。

ちょっとすいません。農業の方の話で、認定新規就農者とあとそれ以外の、新たに始めた方という話ですけど、端的に違いは何と思えばよろしいでしょうか。

◇事務局 お答えします。まず認定新規就農者という言葉ですが、こちらにつきましても、どうしても独立・自営・就農する場合、当座の運転資金、それから機械の購入、土地の購入と初期投資に費用がかかりますので、新たに独立で就農される方に、今後5年、10年の経営計画を作っていただいて、5年後に目標達成できる計画を立てた農業者について、市が認定新規就農者の認定をいたします。

そうなった場合、国から3年間にわたる補助金と、日本政策金融公庫からの無利子の融資等、かなり有利な条件ができますので、どうしても独立され

たいという方については、そういう計画を立てていただいて、資金面を国・県・市それぞれが助成する形になっております。

近年は、経営拡大とかを目標に、最初は独立されていた方が法人化されたり、いわゆる民間企業の方に進出をして法人化されるところがありますので、そういったところにいわゆる従業員として就農される方がいらっしゃいます。今、独立の方が2名、そういった企業に就職される方が6名ということを通算8名という内訳になっております。

◎会長 今KPIとしてはこういう指標を作っているけれども、ある程度、農業従事者というのはある程度確保できているので、そういう意味でいうと今後はもう少し幅広い視点で評価をしていった方がいいというようなことになるんじゃないかな。

◇事務局 当初の計画よりも、やはり法人化などが進んでおりますので、どうしても昔の流れでいうと自営の方が多かったんですけども、そういった法人就業ということもどんどん進んできていますので、次の計画ではそういったところも含めて、KPIの方は考えていきたいと考えております。

◎会長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

○副会長 令和3年から4年で、創業した件数が50件近く増えているんですけど、まずそれがどういう業態なのかなど。あともう一つ、令和6年以降のところなんですけど、今のお話聞いて、新規就農というのはハードルが高いというか、腰据えてっているところと、創業や起業のところって、学生が起業したりもあるんですけど、働き方改革って言われてて、もうちょっと起業創業など結構大きな話になるんですけど、例えば副業だとかってというような新しい働き方はどういうふうにお考えなのかなど。

◇事務局 令和4年度の創業件数は48件ということで、一応比率的には男性29人の女性が19人。業種につきましては、小売業、飲食業、サービス業、多岐にわたります。

今言われた副業ですが、まちなかにヒンターという相談窓口も設置しておりますが、そこで、もともと企業で働いている方が、副業としてちょっと何かやりたいという相談ももちろんございますので、今回のこの相談件数の中にも、もともと仕事をやられておって、副業として考えていたけどそっちをメインにして起業したという話も何件か聞いております。

○副会長 おそらく、これからDX化されてきて、いろんなことが容易にできる時代がおそらくくるのが想定されるので、今回のKPIとかでも、副業というか、おそらく働き方のハードルの低いところでの成功体験だとかっていうところも指標として、その起業・創業のステップアップの前の段階でも十分に繋がりが生まれるまちづくりや、魅力が推進できるのかなというふうに思う

ので、もうちょっと細分化されても、面白い何かデータがとれるのかなというふうに感じました。

◇事務局 はい。次回の計画の際にはその点も含めて検討してまいりたいと思っております。ありがとうございます。

◎会長 そうですね。次の計画を意識していく中で、やっぱり戦略策定時とのずれも出てきていると思うので。そういったところが今のうちからご検討いただけるといいのかなと思いました。ではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。では次の「(3) U J I ターンの促進」をお願いいたします。

～基本目標3・推進施策(3)について説明～

◎会長 こちらご質問等お願いします。

●委員 新聞の方で、10年ぶりに地域おこし協力隊の方が就任されたということで、記事を見たのですが、その方の今の活動状況を教えていただければと思います。

◇事務局 地域おこし協力隊につきましては、現在1名が鹿野の大潮地域というところで活動しております。主に、そこに大潮田舎の店っていうところがあるんですが、そこでの新商品開発であったりとか、そういった支援をする中で、5月に着任したばかりなんですけれども、3ヶ月ですけれども、いろいろ地域の中で新商品開発など、田舎の店の活動を中心として、今活動しているところでございます。

●委員 ありがとうございます。私も周南市のインスタとかフォローしてるんですけど、そういったところで、どのような活動をされてるかとか、プロモーションも、もう少しされたらいかかなと思います。10年ぶりということで、しかも女性で、すごく珍しいなと思いますので、そういったことも今後ご検討いただければと思います。

◇事務局 ありがとうございます。地域おこし協力隊のいろいろミッションがあるところでございますけれども、先ほど委員おっしゃったプロモーションというところもございますけれども、まずは、まだ20代の若い女性の地域おこし協力隊でございますので、なかなか1人で全てをするというのは非常にまた我々も難しいぐらいの印象があると、協力隊員自体がもうこれもあれもそれもどれもなるとなかなか難しい点もございますので、3年ございますけれども、半年ぐらいは、まず、いろいろやりたいことはあるだろうけど、まず地域の方とですね、関係をしっかり深めていただいて。そういった足場をしっかりと固めてもらってから次のステップという形で、今我々も活動の方ですね支援させていただいているところでございます。

またそういったプロモーションの関係や発信についても、もちろん考えておるところではありますけれども、今、活動としてはそういう考え方で進めているところがございますのでご理解いただければと思います。

●委員

ありがとうございました。

◎会長

今の話と少し関係するかもしれないですけど、協力隊の方もそうでしょうしUJIターンしてきた方もそうだと思うんですけど、そういう方のサポートというか、周南市の話ではなく、移住したけど合わなくてみたいなのがよくいろいろなところに出てますよね。それってなかなかお互いの行き違いもあるんだろうなと思いつつながら読んだりしているんですけど、そういう部分って、行政がすることなのかという気もするんですけど、そういう方のサポートってというかそういうところって何か出来ることってあるんでしょうか。

◇事務局

先ほど補足説明でもちょっと触れさせていただいている里の案内人という制度、希望者と地域住民の橋渡しをしていただく方の活動を支援したり、地域おこし協力隊とかは今周南市の会計年度職員ということで対応しておりますので、フォローといった形を職員としてもフォローしながらですね、サポートを進めているところでございます。

◎会長

はい。わかりました。よろしいでしょうか。ではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。では3の最後になりますが、「(4) 高等教育機関等との連携」をお願いいたします。

◇事務局

～基本目標3・推進施策(4)について説明～

◎会長

ご説明ありがとうございます。こちらご質問ご意見等いかがでしょうか。

●委員

周南公立大学のキャンパス整備と産業連携の強化に取り組みますということを加えられたと。これはいいことだと思うんですが、取り組みの②の中で、成果として、校舎を解体したとか、今後の対応として、発注者との進捗・工事の進捗を管理すると、これはちょっと当たり前のことであって、ここに書くことじゃないと思います。洋式トイレの拡充よりはありかもしれませんが、何をしたいかとか、何をしたいかというソフトの面の方が重要になってくるんじゃないかなと思います。今後、次回の目標にはそういったことをやっぱり重視していただきたいなと思います。以上です。

◎会長

おそらく、この度作られるのって、看護と情報でしたかね。なので多分文科省申請とかされてるはずなんで、学部構想とかされてて、そのあたりに周南市も関与されているんだと思うんですけど、実際ハードな箱物を作っていく中で、地元が求める人材の育成のために、そういう看護とか情報の学部を作っていくってことなんで、そういうソフト面というか、そういうと

ころも書いていただけるとよかったかもしれないですね。やっていらっしゃると思うんですけど、当然、はい。その他いかがでしょうか。

K P I のことでちょっと聞きしたいんですけど、これは周南公立大学と徳山高専を卒業した方ということですか。

◇事務局 そのとおりでございます。

◎会長 だから母数は就職した方ですね。多分高専とか多分大学行かれる方も結構多いと思うんですけど。

◇事務局 この数字の出し方としましては、それぞれ学校の就職者数に対する市内の就職者数の割合になっております。

◎会長 はい。わかりました。なかなか地元就職率ってすごく難しいとは思っています。自分の大学の経験からしても、なかなかまず大学に来てもらうところまではいいんですけど、そこから地元の就職、やっぱりいろいろ結構ハードルは高いし、やっぱり専門性もあるしというところがあると思うんで、その部分で多分今度の新学部がある意味期待されるのかもしれないけれども。はい。ではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

では続きまして、基本目標 4 の方に入ります。「強みを生かし、にぎわいあふれるまちづくり（1）中心市街地におけるにぎわいの創出」についてお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標 4・推進施策（1）について説明～

◎会長 はいどうもありがとうございました。中心市街地に関してご質問ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。どうぞ。

●委員 中心市街地の賑わいというところで、毎日あの辺りで仕事をしているので。夜せつかくいい場所が、芝生広場とかできたんですけど、若い子のたまり場になっているという現状です。ゴミが毎朝散らかっていて。今毎月第 3 金曜日にイベントとかやられたりしていて、そういうときはイベントで活用されているんですけど、普段何も無いときに、そういった若い子のたまり場になっている現状が見受けられるんですけど、せつかくマルシェとかということでの賑わいを今からやっていく中で、そういうことでの対策と申しますか、なかなか難しいと思うんですけど。あと喫煙所が裏手の方にあるので、明らかに未成年の子が煙草を吸っていたりというのも見かけるので、なにか具体的な対策というのはお考えだったりしますか。

◇事務局 北口駅前広場に若い方がたまり場のようにして使ってらっしゃるということは、我々も認識はしているんですけども、以前、警察とタイアップして指定管理者と共に、のぼりを持ってそうしたマナーアップキャンペーンやなんかもしたことがございますが、なかなか今警察の方と一緒に注意等しても

言うことを聞いてもらえないというかですね、それでもこれを続けていくしかないのかなというところではあるんですけども、このマナーアップについては、引き続き、警察、JR、指定管理者と共に取り組んでまいりたいというふうには考えております。

◎会長

はい。ありがとうございます。

ちょっと今年はKPIの見直しのことも言った方がいいのかなと思ってたんですけど。これいろいろ周南市すごく中心市街地の活性化では、県内の市の中でも割と先行してる方かなと思ってんですけど。なかなかKPIでいうと、歩行者等通行量は落ちてるっていう形になってて。一般に賑わいっていうと歩行者通行量を測りますけど、ちょっとこれが妥当なのかとか、今後考えたときに、他の指標もあり得るのかなあという気もするんで、ちょっとその辺り今後またそういった計画を考えていく中で、少し別な視点の評価軸っていうのはあってもいいのかなと、これは今後の課題ということで、ちょっと思いました。今すぐどうということではないんですけど。

その他いかがですか。よろしいですか。はい。ではこちら取り組みとして着実に進めていращゃると思いますし、先ほどあったような、そういった使い方の課題とか、そういう部分もなかなか悩ましいとこだと思うんですけど、そういうところのソフト面も含めて、いろいろ引き続きお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

では次にまいります。「(2)観光交流の推進」なんですが、よろしいでしょうか。

◇事務局

～基本目標4・推進施策(2)について説明～

◎会長

ご説明ありがとうございました。こちらのご質問、ご意見等お願いします。これKPIなんですけど、動物園は、割と令和元年にだいぶ近いところまで戻っているような印象を受けて、一方で県観光客数はちょっとまだ結構令和元年レベルから大分距離があるかなという感じがするんですけども、動物園は比較的近隣の方も来るので、そういう部分で割と回復が早いけど、やはり観光っていうと、より広域の要素が強いんで、ちょっとなかなか回復が遅いとか、何かその辺りそんなふうに思ったらよろしいですかね。

◇事務局

観光客数につきましては、特に遠方からの観光客に減少傾向が見られます。そのあたりの影響が大きいところと、あと、やはりコロナ禍におきまして、イベント開催自体が自粛傾向にあったものですから、そのあたり観光客数が算入できなかったところがございますが、今年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各種イベントも規模感を増しております、来場者が増えていると、軒並み主催者の方から伺っておりますので、いよいよ観光が戻ってくる年という実感はございます。一方で、温泉施設の閉館で

あたり、そういった影響もございましたものですから、もうひと政策必要などころかなとも考えております。

◎会長 私、多分去年か一昨年のときに、コンベンションの関係で、結構やっぱりリモートになってしまって戻らないんじゃないかみたいな話をした気がするんですけど、そういう面もあると思うんですけど、ただちょっと最近、今年あったいろんな学会とかの感じを見ていると、意外とそうでもないのかなっていう気も。何だかんだいって結構タイムに戻って結構戻ってるなっていう気もしていて、やっぱりみんな対面で会いたいんだなっていうのが一方で思ったところがあるんで、個人的な雑感でしかないんですけど。そういう部分でやはり今年あたりある意味勝負なんだろうなと思うんで、そのあたりは頑張られるといいんだろうなと思いました。

○副会長 はい。僕子どもがいるんで動物園とかよく行くんですけど、会長おっしゃられたとおり多分もうコロナのせいにはできないと思うんですが、これ動物園の方で結構高い目標掲げてるんですけど、これまだ全然到達しない感じなんですけど、何か政策があれば教えていただければ。

◇事務局 はい、そうですね。夏休みと企画展とかを今も再開、コロナ前と同等のものを再開しております。お客様の方も今ちょっと昼間は暑いんですが、お客様の方も体験の方をととても楽しんでいらっしゃいますのでこれからも子どもさんを中心に喜んでいただけるようなイベントを再開していきたいと思っております。

○副会長 ありがとうございます。今まさに言っていた言葉で、昼間が実はもう暑くて、行く気が失せるというか。やっぱ周南市の魅力って周南工場夜景とか、あとお盆の時期ですが、夜の動物園とか。あとは大きな飲食店の歓楽街とかっていうところで。もう多分暑くなってくるので、例えば、平日昼間の営業をちょっとでも減らして、例えば他の動物にはない夜に特化したとか、何か情報を発信するとかイベントをするっていうとこで多分数字は上がらないのかなっていうふうに思うので、周南市の魅力、動物園だけじゃなくていろんな魅力と絡めて、徳山動物園にしかないっていうここでしかないっていうものを何か考えていただければ嬉しいかなと。やっぱそのヒントっていうのが、やっぱり今の暑さっていう、じゃあ夜とか朝方とかっていうような形で、省エネとかっていうのも繋がると思うんで。何か新しい施策みたいなのを楽しみにしておきたいと。多分動物も昼つらいと思うんです。はい、そんな感想になります。

◇事務局 夜間開園につきましては、今年もまた同様に開催しようとさっきする予定にしております。本当に暑いので、今後暑さ対策等を考えながら、動物たち。お客様に喜んでいただけるような動物園を考えたいと思います。

◎会長 やっぱり県内見渡したとき、徳山動物園というのはすごく周南市にとって大きな財産だと思うので。もちろん動物園としての役割もあると思いますけど、そういった部分でまちづくりの中でも生かされるといいかなと思っております。

ではこちら以上とさせていただきます。では続きまして、「(3) スポーツ交流の推進」こちらよろしくお願ひいたします。

◇事務局 ～基本目標4・推進施策(3)について説明～

◎会長 はいどうもありがとうございます。こちらいかがでしょうか。

結構こういった運動公園に民間活力導入するのは、結構他の市も今やったりされていますよね。私がわかっていないので教えていただきたいんですが、都市間競合みたいなものがあるのか、それともある程度役割分担というか、ある程度協議別のすみ分けみたいなことができているのかとか思ったのでお聞きしたのですけども。

◇事務局 まず、周南市のキリンビバレッジの体育館は、県内、中国地方でも、7面ある施設というのは余りないので、結構大きい大会を、競争というか、ここでしかできないというような大会もやっているところで、その辺の奪い合いといいますか、多少はありますけど、そういう大会をするところは、限られているというところもありますので、周南市の施設は結構いい施設を持っていますので、割と誘致しやすいというところだと思います。

◎会長 元々、そういう強みを持っておられるということですね。はい。その他どうぞ。

●委員 ちょっとここで発言するのはどうかなとは思ったんですけども、キリンビバレッジの方でイベントを開催する際に駐車場が足りなくなることが多々あるんですね。駐車場の確保っていう部分でも考えていただいた方が、イベントを開催する際には誘致しやすいのではないかなと思います。

◇事務局 はい。おっしゃるとおりでございます。その辺りも、この度の施設の改修の中で駐車場の増設なり、そのあたりは今設計をしているところでございますので、駐車場については、今後増やしていく方向でございます。

●委員 やはり公共交通施設使うって言っても、スポーツイベント等であれば道具等の搬入とかもありますので、やはり駐車場の確保は重要な要件になってくるかと思っておりますので、今後よろしくお願ひします。

◇事務局 ありがとうございます。

◎会長 はい。ではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございます。

それではですね、基本目標5の方に入ります。「時代に対応した持続可能なまちづくり（1）Society5.0の実現に向けたまちづくり」ということで、お願いいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策（1）について説明～

◎会長 はい。どうもありがとうございました。こちらにつきまして、ご質問ご意見はいかがでしょうか。

○副会長 最近、ChatGPTだとかAIの話がよく出てるんですが。何かこう、AIを活用される予定だとかがあったら。

◇事務局 生成AIにつきましては、他の自治体でもいろいろ取り組みを進められている状況で、周南市におきましては、今庁内にアンケート調査をしまして、どういう活用・どういうアイデアがあるかっていうことの調査をかけておりますので、それを参考にして、今後、どういう活用をしていくかということルール化していくことを考えております。

やはりChatGPTにつきましては、入力する情報や、出力される情報をどう取り扱うか、あと著作権の問題であったり、あとはちょっと偏見とかですねそういったサービスとかそういったものを助長する可能性もあったりとか、正確性の問題を検証しなければならないってことに課題がありますので、どういったものであれば活用可能かを検討しながら、ただそう言っても生成AIですね、今後の業務の中で生かしていくってことは必要になってくるのではないかと考えておりますので、どういう活用の仕方があるかということ今後検討して、まずはおそらく実証、そういった形で取り組んでいくことになるのではないかと思います。

○副会長 ありがとうございます。AIを使う目的っていうところですね。多分、効率化だったりとかでこれ人いないんじゃないかとかってような、また変な話にもなってくると思うんですけど、自動化されて、皆さんにとって有意な時間をおそらくどう使っていくかっていうことが多分今後求められるんじゃないかと思えます。そういったときにAIだとかIoTだとかってような手触り感というか。肌感のないものではなくて、皆さんにはやっぱり市民のところに出てもらって、もっと人肌のある仕事ができる時間をAIを使って作るっていったような、何かそういった2030年、2050年に向けて、こういうものを使いながら、じゃあ人が、何ができるのかみたいなのもこの令和6年度以降の目標の中に入れておいた方がいいんじゃないかなっていうふうに思います。

◇事務局 今いただいたご意見を参考にしながら今後進めてまいりたいと思います。

●委員 はい。今おっしゃったようにやっぱり効率化した後に血の通ったというか、そういったサービスにいかにしていくかということが大きな目標だと思

うんです。ただ現実問題、スマートシティという言葉自体ですね、コンパクトシティも含めてですけど、言葉はあるけど、本当にみんな私も含めてわかってるかどうかと思うわけですね。だからこんなに効率化できます良くなりますよっていうけど、じゃあタブレットを持ってって言った途端にタブレットなんか触ったことない、パソコンなんかうちにはないということで全てが止まってしまっているの押し問答というか、綱引きのような状況に近いんじゃないかなと思っています。その中で、強引な手法がいいかどうかはありますが、キャッシュレスだって3、4年前、そんなことができるかというふうに思ってたのに、2年間ぐらいで普及できたわけですね。マイナンバーカードにしても、反対意見がある中で努力されて広がったと。問題が残っているにしてもですね。そういったことでこのスマートシティとかコンパクトシティとかいうのは永遠の課題ではあるかもしれないけどやっぱり遠い未来の話ではないと思うんですね。やはりこれを具体化して現実化していかないと、気付いたときには遅かったというようなことにもなるんじゃないかなという心配がある。逆にさっき言われたように、余力を市民のため、住民のために使えるように工夫して行っていただきたい。とても難しいことだと思いますけど。でもこれやっぱ避けて通れない問題だろうというふうに思ってますので、今後の課題といたしますか、目標設定にも生かしていただきたいと思えます。以上です。

◇事務局 おっしゃる通り、遠い未来の話のようで実はもう身近に迫ってきているという、皆さんがデジタル技術を活用していただける環境というのは徐々に整ってきておりますので、しっかり長期的な視点、もちろん短期的な目の前の高齢者とかそういうデジタルに不慣れな方に対する対策もしていきながら、しっかりと進めてまいりたいと思います。

●委員 よろしくお願ひします。

◎会長 はい。それではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございます。では続いて、「(2) コンパクト・プラス・ネットワーク」のことでよろしくお願ひいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策(2)について説明～

◎会長 はい。ありがとうございます。こちらについてご質問ご意見等、よろしくお願ひいたします。

ちょっと私の方から。まずコンパクト化の必要性というところに関しては、ある意味一番逼迫しているのが、公共交通サービスの維持のところ、書かれているように、お金というよりは運転手不足で否応なしに事業者がもうできないということをいろんなところでおっしゃっていると。例えば周南市の場合、防長交通がいらっしゃるので、相対的にまだ状態としてはいいと

思うんですけど、やっぱり防長交通でもかなりいろんなところで撤退が出たりはしてあって、防長交通に限らないんですけど、そういうところがあって。ちょっと先ほど委員おっしゃったんですけど、やっぱりコンパクトシティっていうのが結構もうなかなか末端までいろんな移動のサービスを提供することがすごく難しくなってきた。そこの部分からある意味迫られているので、そういう部分で、都市計画はもう少し長期的な視点でやるんですけどもなかなか交通がこの1年2年みたいな短期的な方法で今迫られているので、そういう都市計画と交通計画の時間的な視野の違いみたいなところをどういうふうによく調整していったらいいのかなというところに関して、自分の答えがないので、答えをお願いするわけじゃないんですけどすごく悩ましいなと思ってます。ここにバスの事を書かれてますけど、タクシーなんかもっと逼迫していますしね。もちろん鉄道もありますし、すいません交通の話ばかりになって申し訳ないんですが、ちょっと周南市の公共交通ということについて、一つやっぱり弱点だなと思うのは、これもご承知と思いますが、防長交通G T F S対応が遅れているんですよ、県内の中でも。そこがあるので、やっぱり検索して出てこないですね、ご承知と思いますけど。ちょっとなかなか中にいると感じにくいと思うんですけど、結構ちょっと外から来訪する立場にいると防長交通が対応してないのは結構不利な部分だと思ってます。なかなか難しいところあると思うんですけど、やっぱりちょっとそのあたりは何かなんとかできた方がいいだろうなと非常に細かいことですが感じてるところです。すいません交通はいろいろやってるので、ちょっと細かい話をしてしまいましたので、もう少し広いお話もあると思うんで何かありましたら。

◇事務局 先ほどからのご意見の中で、公共サービスが、人的要員がいなくてというのがすごく加速しているところがありまして、あと2024年問題で物流のみならず、こういった人を運ぶものにつきましても、かなり高齢化が進んで、人手が足りていない状況というのが確かに加速して訪れています。今65歳以上の方も会社が雇用されている方が多く、この方がもう退職、雇用延長ってところもありますけど。それをされてもなお足らない状況で、なおかつ就業時間の制限がかかってくるのがあれば、6年3月ということで、事業者の方は今の幹線であるとか、市内の交通についてはできる限り維持をしていきたい。ただやっぱり人的なことの制限もあって、縮小せざるを得ないところもある。ただ廃止ありきではなくて、できるだけ運行できる体制をとっていきますという姿勢でこちらとお話をされている状況にはあります。こういった中でバスのみならずタクシー、鉄道についても運転手の方が減少しておいて維持が難しいっていうところも出ております。

G T F Sの導入なんですけど、2年ぐらい前に検討をしたことがございまして、そこから今止まってる状況なんですけど、今遅れているっていうのがございます。防長交通にもA Iの集計であるとか、G T F Sのような形でネットで検索すればバスがどういうルートで今動いているっていうのが検索できる形のシステムの情報提供はさせていただいてます。あとは補助金等を活用できるものがあればそういったものも導入の補助としてやっていくことが考えられると思います。今はB u s i tっていうのがあるんですけど、今の時間帯のバスのみ、バス停から検索でき、そのバスが今どこに運行して、どこのバス停の近くにいるのかっていうのは確認できる状況っていうのがあるんですけど、なかなか市内の利用者全体には普及していない状況であるかと認識はしております。こういったことを解消できるような形で進めていけるものがあれば導入していきたいと思います。

◎会長

はい。私もすごく細かいことをお聞きしてしまって、ちなみに皆さんご存じないかもしれないですが、今だいたい公共交通はG o o g l eマップで検索できるんですよ。それでできるのはバス会社とか鉄道会社がそういうデータを提供しているから、整備しているからなんですけど、防長交通は未整備なので。徳山駅から例えば動物園に行くときには、歩いていけみたいになるんですよ。G o o g l eマップだとかそういうところがちょっとあって、本当はバスがあつたりするわけなんですけど。そのところが結構外から来るとちょっとあれっと思ったりするときあるんでそこは何かできるかいいのかなと思います。あと前段の人手不足のことは、本当になかなか一朝一夕で解決できることじゃないのは重々承知して。まず、事業者が頑張っていたかかないといけないと思うんですけど、ちょっとこれは情報まで、もし行政ができるとしたらっていう意味でいるんですけど、宇部市交通局は運転士の募集に関して、U I Jターンとなんか絡めたような形をされてますね。U I Jターンされて、こっちの方に帰ってきて運転士になれる方への補助金を積みますみたいなことをやられて。それが有効かどうかっていうのはよくわかんないんですけど、なかなか行政にできることって限界もあると思うんですけど、なかなかどこの街も苦労されてるんで難しいと思うんですけど。はい、ご紹介までです。

◇事務局

ありがとうございます。防長交通も雇用という部分でいけば、バスに常時運転手募集っていうのを掲載されて運行されている、あとはおっしゃったような、就業フェアとかですねU J Iの関係も県が主催するものにバス協会として参加されているとか、防長交通単独ではお伺いしてないんですけど、そういったものにはできるだけ参加をされてやられているんですけど、なかなか人がいらっしやらないっていう状況に今あるようです。

◎会長 はい。ありがとうございます。なかなか交通はすごく人手不足の分野だと思わんですけど、なかなか市単体でできることではないんですけど、できることはよろしく願いいたします。

 はい。それではちょっとこちらについては以上とさせていただきます。続いては「(3) 中山間地域の持続可能な生活圏づくり」ということでお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策(3)について説明～

◎会長 はいどうもありがとうございました。ご質問ご意見等いかがでしょうか。ちょっと内容の確認ですけれども、中山間地域の拠点づくり、こちらについては、この地域に拠点施設を整備することで、基本的にその北部地域の中でその拠点に行けばある程度基本的な利便性、基本的な用は満たせるというか、そういうような形を目指されているということですかね。

◇事務局 そうですね。おっしゃるとおりの方向で今進めているところでございます。

◇事務局 交通の方から申し上げますと、北部拠点施設があるんですが、あと中山間地域で鹿野とか長穂とか須々万とか大道理とかございますけど、今鹿野においても、コミュニティバス導入しております、ただ旧鹿野町のエリア内でなかなか病院とか買い物とか完結するものがなくなってきておりまして、今のところ鹿野地域内で路線バスに繋ぐとかそういった形でコミュニティバスを運行しております。須金、中須、長穂、大道理につきましては、須々万の方が生活に必要なものが用意できるっていうところで、地域内の方を買い物や病院とかということで須々万の方に人を輸送している状況にあります。路線バスが残っているところにつきましては、それ以降の移動については防長バスであるとかに乗っていただいて、徳山市内方面とかには出ていただくようになりますが、通常のお買い物、病院っていうのは須々万の方に集まっている状況にはございます。

◎会長 そうですね、やっぱり他の地域でも以前、ある程度拠点として機能しているところがなかなか拠点として機能しなくなってきて、より広域の中で、拠点を集約していかないといけないということは他の町でも起こっているように思いますが、今の時点ではこういった形で、ここに集約していこうとしているということですね。はい、ありがとうございます。

 その他何かございますか。よろしいでしょうか。はい。それでは以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。最後になりますが、

 「(4) 多様な主体による地域づくりの推進」ということで、よろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策（4）について説明～

◎会長 ありがとうございます。こちらについてご質問ご意見よろしくお願ひいたします。どうぞ。

●委員 夢プランですけれども、地域の将来像について、例えば何年ぐらいのスパンでそれを実現するのかとか、今もう例えばもう具体的な成果が上がっているものがあればちょっと教えていただきたいです。

◇事務局 お答えいたします。夢プランにつきましては、今、市の支援といたしましては、策定に2年で、その課題をこういうふうに解決していこうという実現支援に3年間、トータル5年間ですね、補助金を支給しながら支援をしております。ただ補助金が終わった後でございますが、引き続き、課題解決について、地域の方でも取り組んでいただくということになっておりますので、その辺につきましては、市の方でできる支援の方はさせていただいてるところでございます。具体的には、昨年、令和4年度にですね、大河内の夢プラン、それと岐山地区の夢プラン、もう一つ、徳山小学校区の夢プラン、この3件が策定をされて、これから取り組んでいかれるところでございます。各地区の特性を生かしながら自然をキープしていき、そのために、森林浴とかですね、野菜を作ろうとか、繁茂した竹を活用していけるんじゃないかというようないろんなアイデアを作りながら環境整備と共に自然を大切にしていくとか、そういった取り組みも地域でやられるということもありますし、子どもたちと大人とのですね、絆をどんどん深めていこうということで岐山地区については、挨拶しっかりやっぺいこうとか、そういうところからですね、1からということもありますが、そういったところで人材の育成、担い手を確保していきたいという思いをお持ちです。最後に徳山小学校区については、地域でこういうことに困っているというのは、なかなか今明確ではないと。ただ、まちなかでございますので、いろんな資源ございますから、いろんな地域と繋がって、地域同士で支援をしていくとか。そういったちょっと違う視点で取り組みを展開していきたいというような夢プランを策定されておられます。その中で、地域を高めていこうというような思いが伝わってくるプランだと思っております。以上です。

◎会長 少しお伺ひしたいのですが、この夢プランを策定される地域の単位はどういう、校区とか、そういったものに限らないのか、どういう形なんですか。

◇事務局 基本的には、コミュニティの団体の区域で作っていただいております。先ほど徳山小学校区と言いましたが、まちなかでコミュニティは1つ、自治会連合会地区が2つ、中央地区と関門地区の2地区がありますが、一緒に作っていただいているということで、徳山小学校区ということでやっております

が、基本的には、コミュニティ1団体につき1個、1団体でということです。

◎会長 あれでしょうかね、周南市のおっしゃるコミュニティというのはだいたい小学校区にもう少し小さいものなんですか。

◇事務局 基本的には小学校区です。

◎会長 時にずれていることもあるということですね。そうなんですね。いや小学校区というのは割とよくあるかなと思ったら、少しそれとは違う単位もあるというのは少し何か興味深いなと思ってるんです。

◇事務局 はい。中にはこれまで過去に作っていただいたもっと小さい地域、例えば大潮地区、中須北地区とかはそちらの方だけで作ってらっしゃるとかそういったのも見受けられますが、それらもあわせながら地域の中そのエリアの中での課題解決を目指すということで、こちらの方としてもそれで進めていただいています。

◎会長 周南市において、現状がどうかわかりませんが、結構学校も統廃合とかある中でやっぱり必ずしも校区を前提とせずに、もう少し小さい単位でもし意見がまとまるんだったらそういう単位でもやれるといいなっていうのはいろいろ感じるところがあるんで。はい、興味深く聞きしました。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。どうぞ。

○副会長 市民活動の推進の中にコミュニティビジネスですね要は持続可能、多分補助金って期限があるんで、よくこの手のやつって金の切れ目が縁の切れ目ってなることがよるあるんですけど、具体的にこの専門家の派遣とか、企業団体等の連携のコーディネートってどのようなことを行われているんですか。

◇事務局 はい。コミュニティビジネスの支援についてでございますが、こちらにつきましてはですね、我々地域づくり推進課の職員だけではですね、やはりいろんな指導というか、アイデアとかですねそういったものも十分ではないというふうに感じております。そのためですね、今一番頼りにしているところというのがふるさと振興財団というところが中心に、これは地域づくりの中間支援組織ということで各地域に入っておりますし、コミュニティビジネスについてもですね、入り口について支援をさせていただいております。後、より専門的になると商工会議所等と連携させていただくとか、関係各所と連携させていただきながら、つないでいくというような支援をしております。

○副会長 わかりました。今回、いろんなところで起業とか創業という言葉が乱立してる形なんですけど、全部基本的に一緒なんじゃないかなっていうふうに思うんです。もうちょっとこう横串で課の連携を踏まえて、多分いろんなものが、新規就農とかっていろんなものが繋がっていくんじゃないかなと思うの

で。そのあたり、まとめてコミュニティビジネスができるように、要はそれ応援して持続可能なものが作れるような仕組みみたいなものの指導とかっていうのは、いろいろな課とか、商工振興課だとか、いろんなどこで連携してできると思うので。何かそういったところで協力していただけたらなと思います。

◇事務局 はい。ありがとうございます。我々も単独でできるとは全然持っておりませんので、いろんなどこかと協力しながら、情報共有しながら進めていきたいというふうに思っております。

◎会長 はい。ありがとうございます。よろしいでしょうか。

はい。それではですね、以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。それではですね、これで全ての推進政策の評価が終わりました。全体を通じて何かご意見ございましたらよろしく願いいたします。どうぞ。

●委員 はい。横串という言葉が出てきましたけど、今年のまとめを拝見させていただいて、去年一昨年、はですね、これは形式のこと言ってるわけじゃないんですけど、書きぶりが各課バラバラで、量も多いのと少ないとあって、いろいろだったんですけども、これ今年の分についてはかなりすっきりしているなというか、同じ目線でやってらっしゃるなど。横串でやるのは本当に大変だったんだろうと思いますんで。ご苦労さまだと思います。その上で、例えばページの形ですけど、基本目標、推進施策があって、主な取り組み、具体的な取り組みこのあたりまでは何わかりやすいんですけども、その後の取り組み成果のところと、評価と今後の対応のところですね、これは難しいですけども、取り組み成果についてもっと具体的にこう記述があったり、最後の評価、今後の対応についてはそれをどう評価するかというコメントがあった上で、今後どうしていくかなど、そこが具体的にですね、全てを書くことはできないでしょうけど、あると非常によりわかりやすいものになっていくんじゃないかなというふうに感じています。去年も言ったんですが1ページにですね、評価の視点のところと2行目に、市民感覚とかけ離れてないかとか、6行目に、市内部の連携がとれているかということで、これとっても大事なところだと思うんで。逆にそれをそこに横串を刺すのが大変な中、ご苦労があるとは思いますが、この辺より注力していただけるといいなと思っています。それと、市長がよく最近言われる人口減少に抗うという言葉ですね、現実、目の前の話だと思いますので。それを受け入れることによって変化するチャンスでもあるとおっしゃってますんで、やっぱりいろいろ伝統とか歴史とかしきたりとかいろいろあって作られてると思うんですけど、やはりその辺は変えていくということがあれば、よりわかりや

すいし、皆さんにもお別れ触りやすいんじゃないかなと思います。ありがとうございました。

◎会長

はい。ありがとうございます。全体の表示とか評価の部分の記載の仕方は、私も同意するところがあるので、その辺りなかなか難しいところと思うんですけど、また工夫していただければと思います。あとちょっと私の方からですね、ちょっと私今回わりとやはり大分後半に入ってきているということもあって、例えばKPIの妥当性みたいなところも少し考えながら見てきたつもりなんですけど、策定段階で良かれと思って設定されているKPIの中でもやはり今日の議論の中でも、必ずしもちょっと別な切り口もあり得たんじゃないかっていうところが幾つかあったかなと思います。そのあたりは最初の段階でわからなかったところもあるんでやむを得ないところもあると思ってんですけど、ちょっとそのあたりはおそらく、今後、次の計画などを議論していかれる中で、少し反映していただけるとありがたいなと思います。あと先ほど、副会長がもうコロナを言い訳にできないというお話されてましたけど、令和2年が一番落ち込んで、それから3年4年とある程度自然回復してきて、多分自然回復が多分今年までぐらいだと思うんですよ。ここから先はある意味おっしゃるように、コロナだからとかそういうことじゃなくて、やっぱりまたスタートラインに立って、都市間競争になってくるんだと思うので、そのあたり、今後考えていかないといけないんだろうなと思いました。

それではですね。これで一応何とかほぼ予定時刻に近い形で全体を終了できました。前回、今回の会議で皆様からいただいているご意見について事務局の方で整理をされます。後日皆様に配布があるということですので、もし発言内容に齟齬などがあった場合は事務局にお知らせください。それで最終的にはですね、議事録とあわせて私の方とそれから副会長の方で責任を持って内容確認させていただきたいと思いますので、そういう形でご一任いただいてもよろしいでしょうか。はい。では、どうもありがとうございます。それではよろしいでしょうか。では、進行事務局にお返しします。どうもありがとうございました。

7 閉会

◇事務局 (企画部長あいさつ)

◇事務局 はい以上をもちまして令和5年度の第2回周南市まちひとしごと創生戦略会議を終了いたします。改めまして委員の皆様、長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。